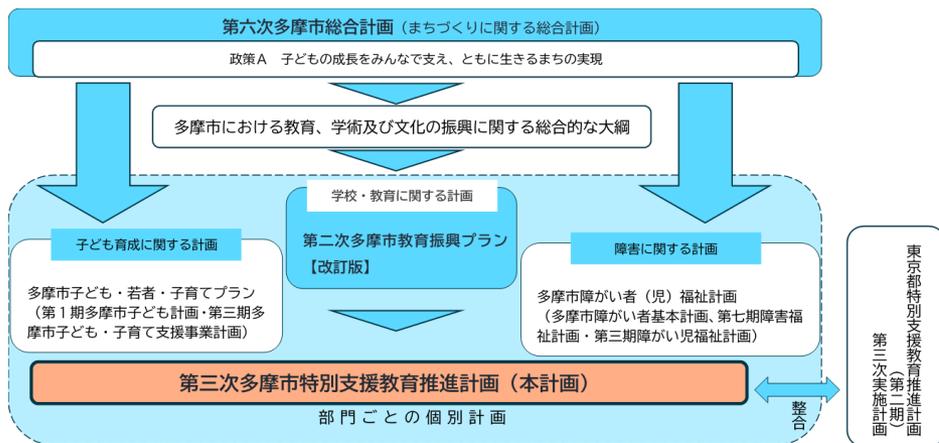


第三次多摩市特別支援教育推進計画（素案）【概要】

計画の策定にあたって

障害の有無にかかわらず、誰もが地域や学校などで共に支え合って暮らす共生社会の実現に向けて、一人ひとりの子どもの能力を最大限に伸ばすため、多様な学びの場を用意し、児童・生徒に社会的自立を図ることのできる力や地域の一員として生きていくための力を培うべく、多摩市の特別支援教育のさらなる充実に向けて、第三次多摩市特別支援教育推進計画（計画年度：R8～R12年度）を策定します。

成果指標で年度ごとの施策全体の達成度を見える化します。



計画の体系 全5章

- 第1章 多摩市特別支援教育推進計画の策定にあたって
- 第2章 第二次多摩市特別支援教育推進計画の成果と課題
- 第3章 実態把握から見える多摩市の特別支援教育の現状と課題
- 第4章 第三次多摩市特別支援教育推進計画
- 第5章 他機関との連携

計画の推進体制



国・都の動向

国連の障害者権利委員会における日本政府報告に関する総括所見
東京都特別支援教育推進計画（第二期）第三次実施計画策定

市の動向

多摩市障がい者への差別をなくしともに安心して暮らすことのできるまちづくり条例の施行
聖ヶ丘中学校に自閉症・情緒障害学級新設

第三次多摩市特別支援教育推進計画（素案）【概要】

第二次多摩市特別支援教育推進計画から見た成果と課題

成果

- ①校内委員会等を活用した組織的な取り組みの推進
- ②学校生活支援シート・個別支援計画の定着
- ③学習障害の理解や指導に特化した研修実施
- ④就学相談等の充実
- ⑤教育と福祉の連携による相談対応の充実
- ⑥学びの場の整備

課題

- ①個別指導計画等への子どもの意見の反映
- ②教員研修の充実
- ③教員の専門性を支える仕組みの整備
- ④市民や教員等への周知・啓発
- ⑤必要な支援を引き継いでいく仕組みづくり
- ⑥多様な学びの場の継続的な検討

実態把握から見える多摩市の特別支援教育の現状と課題

現状

〈多摩市の特別支援教育に関するアンケート〉

配慮してもらった経験は60%以上で、ほぼ100%が支援に有効という回答でした
合理的配慮については半数以上の保護者がよく知らない、言葉だけ聞いたことがあるという回答でした
個別指導計画等に子ども自身の意見が入っていないという回答が一定数ありました

〈高校生等グループミーティング〉

みんなに何をしているか知ってほしい
自分の意見を尊重してくれて、将来の夢や目標ができた先生たちが自分のためにやってくれていたんだと後で気づいた
近くの人に頼ってすごく良かったから、早いうちから頼った方がいいよ

課題

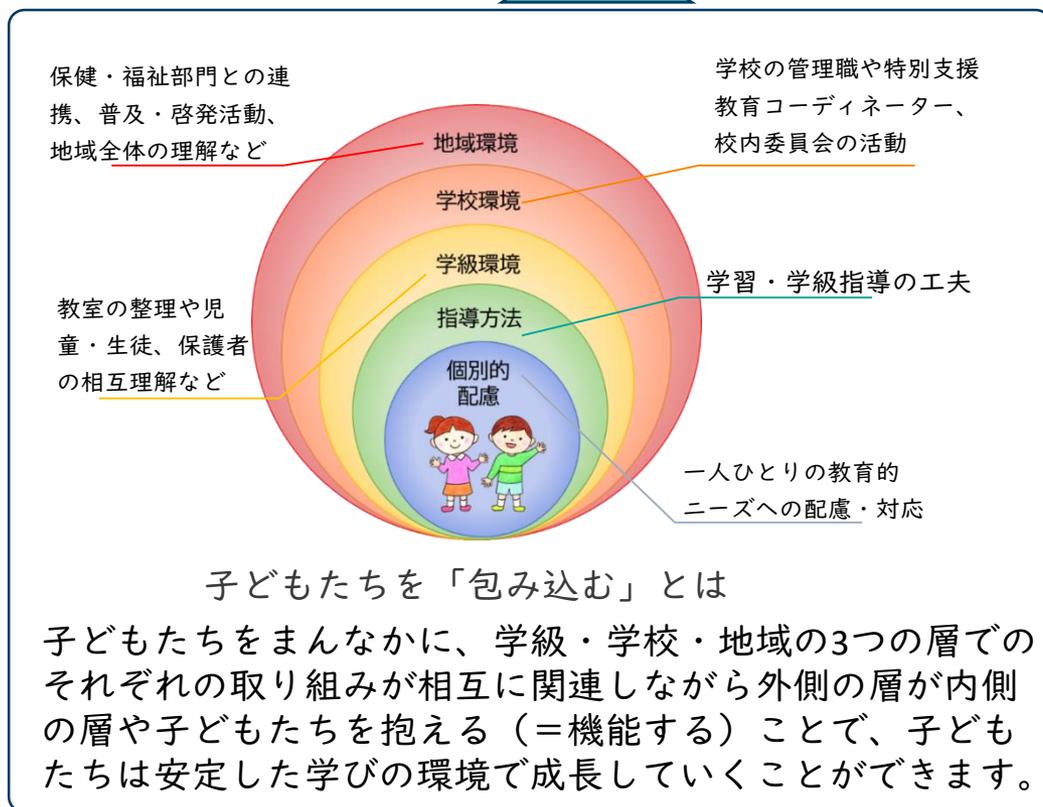
合理的配慮や特別支援教育について、**保護者・教員及び子ども同士の理解・周知**を進める必要があります
特に**合理的配慮の決定に至るプロセス**を家庭と学校で明確にしていくことが、お互いに対話できていると感じ、組織として対応内容を決定するためにも必要です
指導内容等について、教員間での連携や支援の継続性が強く求められています。子どもの意見を反映させた個別指導計画等となるようにさらに児童・生徒の意見聴取を充実させて取り組む必要があります

第三次多摩市特別支援教育推進計画（素案）【概要】

特別支援教育において、これまで重視されてきた個人の中の成長(個人因子)を促す教育だけでなく、本人を取り巻く環境（環境因子）を整えることで、個人の成長を促す教育の考え方が重要です。このことは子どもたちを包み込み、支援していくものであり、多摩市教育委員会は、この考え方をもとに第二次計画でも実践を続けてきました。第二次計画の評価及び実態から引き続き第三次計画でもこのことを理念として継承し特別支援教育を推進します。

基本理念

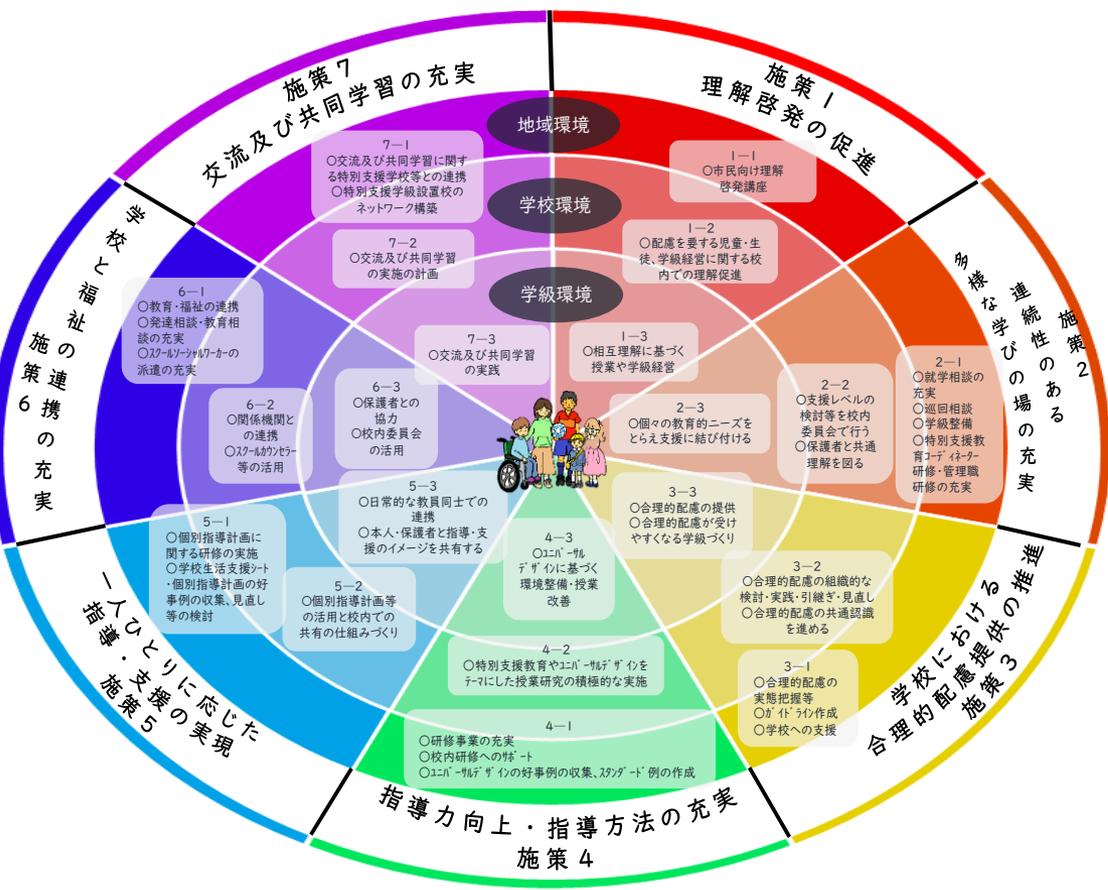
子どもたちを包み込み、その先の未来へ



子どもたちが、環境因子に包み込まれる中で得た、「できた」「わかった」という自信や「これがあればできる」という支援を得る力をもって、将来の自立と社会参加に向けて進んでいき（＝その先の未来へ）、これからの共生社会に生きる大人になってほしいという私たちの思いが込められています。

第三次多摩市特別支援教育推進計画（素案）【概要】

7つの施策



1 理解啓発の促進

特別支援教育等に関する市民向けの理解啓発講座を実施するなど、市民全体が、相互に理解を深め互いに尊重し合うことができるよう取り組みます

2 連続性のある多様な学びの場の充実

就学相談等や校内での必要な支援の検討が充実することで、連続性のある多様な学びの場の充実につながります

3 学校における合理的配慮提供の推進

学校の管理職のリーダーシップの下で、児童・生徒が必要な合理的配慮を受け充実した学校生活を送れるよう取り組みます

4 指導力向上・指導方法の充実

ユニバーサルデザインの視点などを取り入れた学級環境や授業改善等を通して、すべての児童・生徒が安心して楽しく学べるよう取り組みます

5 一人ひとりに応じた指導・支援の実現

児童・生徒の支援・指導の基盤となる学校生活支援シート及び個別指導計画を、より効果的に活用できるよう検討を進めます

6 学校と福祉の連携の充実

相談機関の周知や福祉との連携等を図りながら、誰もが安心して相談できるよう取り組みます

7 交流及び共同学習の充実

すべての児童・生徒が共に学び合い成長できるよう、特別支援学校とも連携しながら交流及び共同学習の充実に取り組みます